

- 1 会議名 議会基本条例推進協議会
- 2 日時 平成29年6月19日(月)
開会 午前10時00分 閉会 午前11時31分
- 3 場所 第3委員会室
- 4 欠席議員 なし
- 5 出席者 議会事務局長 尾関友康、同主事 高山智史
- 6 あいさつ 宮川会長よりあいさつ。
- 7 報告事項

(1) 行政視察について

会長：視察の予定が3件入っている。1件目は6月27日(火)に扶桑町が議会改革について、2件目は7月4日(火)に長野県千曲市が議会運営等について、3件目は8月8日(火)に福島県相馬市が議会基本条例について視察に来るので、できるだけ全員参加でお願いしたい。パワーポイントを活用したいと思っており、扶桑町用のものを準備中なので早めに皆さんにお示ししたい。

全員：了(1件目は鈴木議員、塚本議員欠席、3件目は塚本議員欠席)

(2) その他

会長：1点目に8月22日(火)に市民活動団体とのふれあいトークを市民プラザで行う予定。対象団体、時間は未定。割振りについては今後決定していく。2点目に岩倉ボランティアサークルから、中学生から大学生を対象としたふれあいトークを企画したいとの申し出があった。今後岩倉ボランティアサークルと話を詰めていく。日程についてはお盆前後を予定している。

榎谷委員：この場で予定を確認してはどうか。

会長：各委員の8月9日から18日のお盆を除いた日の都合はどうか。

木村委員：9日は広報クリニックがある。

(日程調整の結果、10日か18日の午後に決定)

会長：10日か18日の午後で先方と日程を調整していく。

全員：了

8 協議事項

(1) 議会報告会について

会長：議会報告会とふれあいトークのあり方について、現在2本立てで実施しているがどうか。

大野委員：もともと議員が出ていない地区に出向いて地域住民の意見を拾うために行っているものなので、今後も今まで通りのやり方で問題ないと思う。

会長：議会報告会とふれあいトークの2本に分ける必要があるのかということ。なかなか市民の参加を得られないためどうしていくべきか。

黒川委員：まずは課題を整理する必要がある。全市民が対象の議会報告会と行政区への報告会は切り分ける必要があるのではないか。大野委員の発言ももちろんだが、市民が集まりやすい時間や場所についてなど考える必要があるのではないか。

会長：それぞれ議題とする。まずは行政区への報告会について、中本町、東町、中野町、鈴井町、稲荷町、川井町、南新町、泉町の8地区のうち、行きたい地区はあるか。

大野委員：川井町は企業誘致のことがあるので早めに行うべきではないか。

会長：川井町を最優先とし、もう一か所は正副会長で調整する。時期はどうするか。

大野委員：なるべく早く、来月にでも実施したほうが良いのではないか。相手方の都合を聞いてみてからにはなるが。

黒川委員：正副会長で相手方と話を詰めてもらってはどうか。

全員：了

会長：相手方と調整後、会は開かないが報告させてもらおう。

堀委員：将来的な姿として、なるべく多くの班を作って実施すべきではないか。例えば、3人ずつ5班づくり、班長が日程調整等を行うことにすれば、会長の負担を軽減できるのではないか。

大野委員：あまり多くしなくてもほかに機会もあるため、できるだけ絞って実施したほうが良いのではないか。

会長：現在は準備などで事務局に手伝ってもらっているが、もともとは議員各位で日程調整から報告まで行っていたので各自でできるのではないか。問題は何人編成にするかだと思う。

大野委員：今回の任期中の4年間で議員が出ていない地区を回りきれるので年2回実施するという話だったと思う。今回の任期中はこのままでよいのではないか。改選後は細分化してもよいと思うが。

会長：今後の課題とし、当面はこのままの体制で実施していく。

全員：了

(2) 今年度の取組内容について

会長：別紙のものについて、今後の議題を整理し、対外的な部分のハード面と技術的な部分のソフト面の2部会ぐらいに分けて取り組んでいきたいと思うがどうか。

黒川委員：テーマ設定について全委員に聞いてはどうか。

会長：了

木村委員：議会改革というものがハード面を整えるのもそうだが、議員活動自体の中身を考えるべきではないか。議員自らが政策について発案するなど、中身を高める必要があるのではないか。

会長：議員個人の能力も大切だが、議会の組織としての力を高める必要があるので、課題を出していただき、それを一つずつ解決していく必要がある。

大野委員：江南市が議会をペーパーレス化している。近隣の北名古屋市、小牧市もペーパーレス化に向けて動いており、岩倉市だけ取り残されてもいけないので、ペーパーレス化に向けて動くべきではないか。

堀委員：予算の問題もあるので早急に動くべきである。

大野委員：ペーパーレス化にあたっては議場のシステムの整備を先にしないといけないと思う。

堀委員：今のシステムを見直すとなるとコストが大きいので実施計画でやらないといけない。タブレットの導入だけならコストも低いので、別で考えれば良いと思う。

大野委員：江南市でもペーパーレス化にあたっては1年以上時間がかかっている。我々も当局に早めに要求していないといけない。

鈴木委員：スクリーンを使うためには明かりを落とす必要があり、議場が暗くなりすぎてしまう。また、質問や答弁の音が聞き取りづらいとの傍聴者からの声もあり、そのあたりも改善する必要がある

のではないか。

会長：ひとまず、このほかの課題も上げていくこととする。

堀委員：別紙について、今回新規で加わったものの説明をお願いしたい。

会長：議会会議規則の条例化については、平成23年に提案があったが議論等はされなかった。条例化することで何がどう変わるのか等を考える必要がある。委員外委員の発言の位置づけについては、申し合わせの中で位置づけているが、明文化すべきかどうかは課題となる。

黒川委員：課題の抽出の点で、行政評価については重要な項目だと思う。過去にも取り組もうとしたがやりきれなかった経緯があるため、時間をかけてじっくりやっていくべきだと思う。

大野委員：ペーパーレス化だけで一つの部会を作る必要があるのではないか。ハード面といってもいろいろあり、やれるところからやるべきではないか。

会長：進め方や、優先度などは各部会に一任したい。また、システムの話になると議会としてどうするかという話になってしまう。

黒川委員：議会のシステム見直しについては、議会運営委員会でも議題とする。

木村委員：広報については、広報委員会ですでに議論しているのでよいのではないか。

大野委員：一度、正副委員長で部会を分けてもらえばよいのではないか。

会長：議会のペーパーレス化について、行政表について、議長任期などについての3部会に分けたいと思うがどうか。

大野委員：議会の機能強化を入れるべきではないか。

会長：3つめの議長任期などについての部会に含めるものとする。また、各委員には、この場での立候補により各部会にわかれてもらいたい。

全員：了

（各委員の立候補により以下の部会にそれぞれ分かれることとなった。）

議会のペーパーレス化についての部会：○鈴木委員、大野委員、須藤委員、関戸委員、伊藤委員

行政評価についての部会：○木村委員、櫻井委員、梅村委員、榊谷委員、宮川委員

議長任期等についての部会：○鬼頭委員、塚本委員、相原委員、堀委員、黒川委員

なお、○印は部会長）

会長：各部会の開催日程は部会長に一任する。全体の集まりは7月20日（木）の全員協議会終了後に行い、各部会の経過報告を行うものとする。

全委員：了

（3） その他

塚本委員：こうしたプロセスを経て決めていくことが議会改革だと思う。議決力の向上、チェック機能の向上、政策立案などが議会改革を推進するうえで重要だと思う。

梅村委員：冒頭の議会報告会について、開催日などを決めなければいけないのではないか。

塚本委員：当局と協議等をした事項があったときには報告会が必要だが、そのほかの場合は意見交換会の実施でよいのではないか。

会長：通例では7月と11月に開催しているがどうか。

堀委員：方向性としては意見交換会の実施でよいと思うので、要綱改正が必要だと思う。

会長：7月開催予定のものは、開催を見送ることとしてよいか。

全委員：了

9 その他

大野委員：7月と8月に名古屋市内で議会のペーパーレス化についてのセミナーが開催されるとのことなのでぜひ参加をお願いしたい。

次回日程・・・7月20日 全員協議会終了後 各部会からの報告について

(午前11時31分閉会)